

JMeter 導入

http://www.itarchitect.jp/methodology_and_design/-/39302.html

Ramp-Up 期間が小さすぎず、かつ大きすぎないようにするには、どのようにすればよいのだろうか。

- ・ヒット率の平均値を推定し、スレッド数をその値で割ることにより、Ramp-Up 期間の初期値を計算する
- ・スレッド数が 100 で、ヒット率が 10 ヒット / 秒と推定した場合、理想的な Ramp-Up 期間の推定値は、 $100 \div 10 = 10$ 秒
- ・ヒット率の推定のための簡単な方法は存在しない。まずはテスト・スクリプトを一度実行してみる
- ・リスナーの 1 つである「統計レポート」をテスト計画に追加する。同リスナーでは、リクエスト（サンプラー）ごとに、ヒット率の平均値が表示される
- ・最初のサンプラー（HTTP リクエストなど）のヒット率は、Ramp-Up 期間とスレッド数に密接に関連している
- ・Ramp-Up 期間を調整することにより、テスト計画の最初のサンプラーのヒット率が、その他すべてのサンプラーのヒット率の平均値に近い値になるようにする
- ・最後に、JMeter ログ（JMETER_HOME/bin ディレクトリ内に存在する jmeter.log）を開き、最初に終了したスレッドの終了時刻が、最後に開始されたスレッドの開始時刻よりも後になっていることを確認する。
- ・両時刻の間隔は、できるだけ大きいほうが望ましい。

まとめ

最初のサンプラーのヒット率をその他のサンプラーのヒット率の平均値に近づける

この原則に従えば、Ramp-Up 期間として、小さすぎる値を設定してしまうことがなくなる

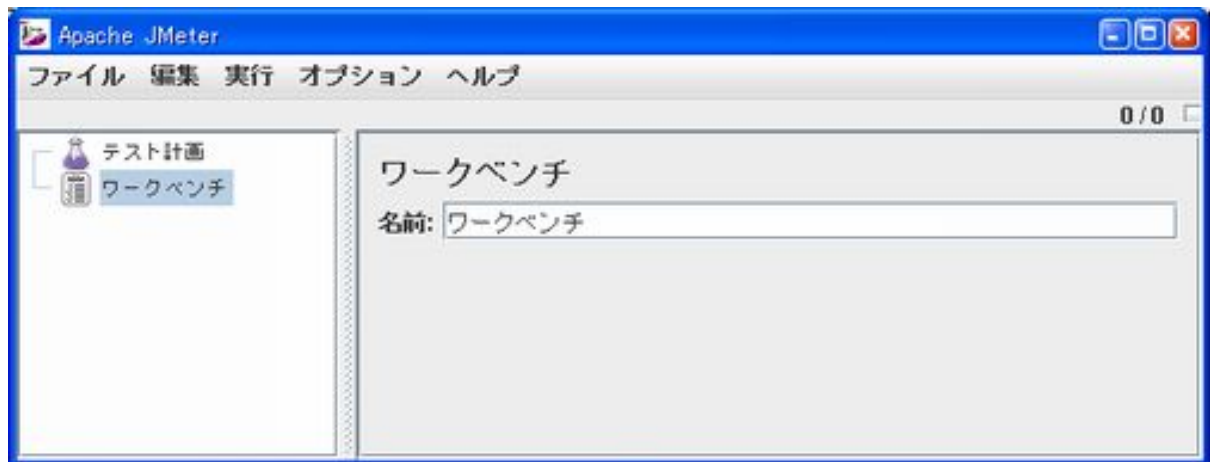
最初に終了したスレッドの終了時刻が、最後に開始されたスレッドの開始時刻よりも後になるようにする

両時刻の間隔はできるだけ大きいほうが望ましい。

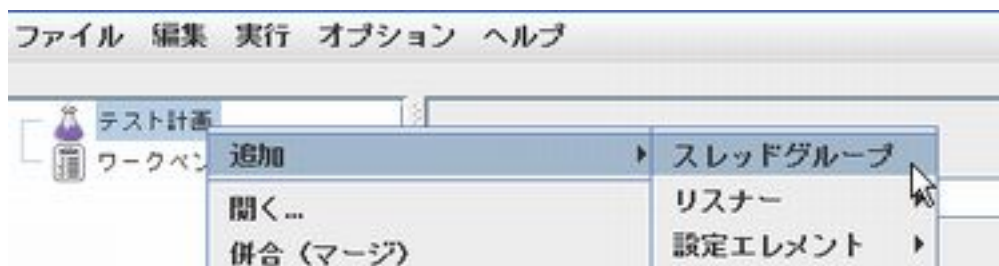
この原則に従えば、Ramp-Up 期間に大きすぎる値を設定してしまうことがなくなる

テスト計画作成手順

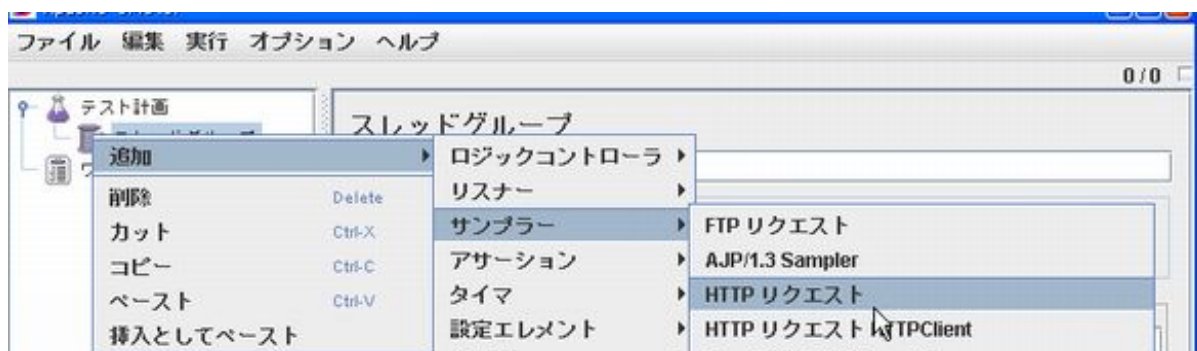
起動



擬似ユーザ(?)となるスレッドグループ追加



実行する処理 (サンプラー) を追加



HTTP リクエスト

名前: HTTP リクエスト

Web サーバ

サーバ名または IP: localhost

ポート番号: 8080

HTTP リクエスト

プロトコル: http メソッド: POST ▼

パス: /fugitive/zz01_01.do

☐ 自動リダイレクト ☒ リダイレクトに対応 ☒ KeepAlive を有効にする

リクエストで送るパラメータ:

名前:	値	Encode?
trxd	search	<input type="checkbox"/>

追加 削除

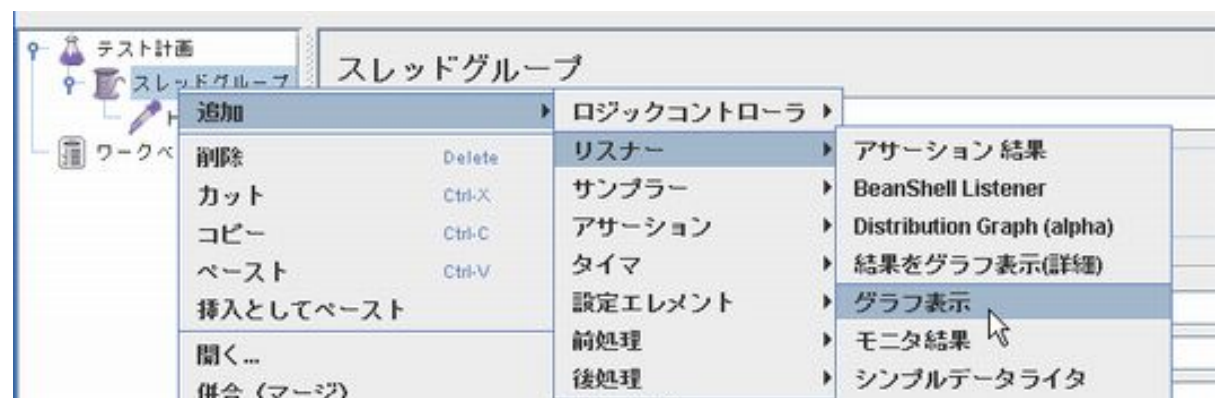
リクエストと一緒に送信されるファイル:

ファイル名:

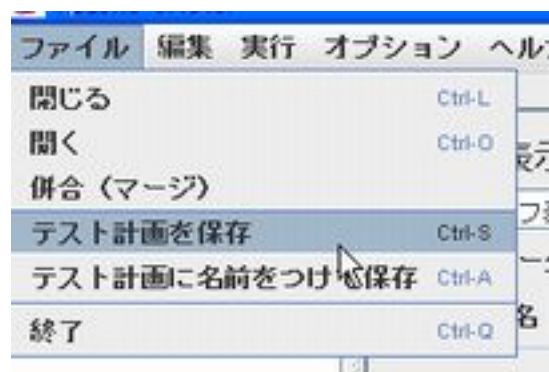
パラメータ名:

MIME タイプ:

結果の確認（リスナー）の追加



計画を保存して



実行

